

3. 果実対策事業報告

(1) 事業の概要

本会は、長崎県果実生産出荷安定協議会の決定事項に基づき、公益財団法人中央果実協会(以下「中央果実協会」という。)、長崎県、関係機関との連携により、果樹農業の持続的発展を図るため、以下の事業を実施した。

平成28年度の補給金、補助金総額は、249,724,557円となった。

(2) 事業の実施内容

①需給調整対策事業

平成28年産うんしゅうみかんは、開花時点での生産予想量は89万トン程度と見込まれ、前年同様需要見込量(90万トン程度)を下回ることが予想されていた。

うんしゅうみかんの安定価格の実現に向け、高品質果実の安定生産と計画出荷を推進することとし、全国、県並びに産地段階で生産出荷目標を策定し、計画的な生産出荷に取り組んだ。

平成28年産うんしゅうみかんの目標と実績は下記の通り

(単位:t)

	全 国			長 崎 県			
	適 正 生産量	適正出荷量		生産量	出 荷 量		
		生食用	加工用		生食用	加工用	
目標	890,000	710,000	90,000	61,800	55,600	47,600	8,000
実績	—	—	—	49,807	27,849	24,224	3,625

*長崎県の実績はJA長崎せいひほか3農協からの実績報告を集計

②果実需給安定対策事業

(ア) 果実計画生産推進事業

長崎県段階で定めた①の目標を達成するため、農協が事業実施主体となり、摘果の推進指導など計画的生産出荷に対する指導の取組を支援する事業である。

実績は次の通り(補助率2分の1以内)

(単位:円)

	事業費	補助金額	実施内容
JA長崎せいひ	237,520	233,200	確認手当、登録園証作成費
JAながさき県央	1,249,416	1,249,416	確認手当
JA島原雲仙	922,992	922,992	確認手当
JAながさき西海	1,156,085	1,156,085	確認手当
合 計	3,566,013	3,561,693	

(イ) 緊急需給調整特別対策事業

うんしゅうみかんの出荷において①、②(ア)で計画的生産出荷への取組みを的確に実施したにもかかわらず、一時的な出荷の集中により、全国的に価格の低下が顕著な場合又は価格の低下が確実に見込まれる場合に、生食用として出荷を計画して

いる果実のうち、価格低下の主因となるおそれのある果実を緊急的に加工原料用に仕向ける措置を支援する事業である。(支援を受けるためには、適正生産出荷目標の配分を受けていることが必要)

平成28年度は、事業発動がなかったため、農協負担金 27,720,000 円は、対象期間(平成28年10月1日から平成29年2月28日)終了後に返還した。

③特別事業「需要適応型高品質みかん生産・販売実証試験助成事業」

交付準備金として造成された②等の資金の運用によって生じた利益をもって造成された資金「特別事業資金」を財源に、園芸農産物及びその製品の需要の拡大を図るために、平成26年度より3年間、公募により実施した助成事業である。(助成金支払は27年度までの2か年で終了、28年度は実証試験を検証)

この助成事業では、うんしゅうみかんの高単価化を目指し需要に適応した高品質果実の生産・販売の実証試験を行う農協に対し、実証試験に使用する資材費(シートマルチ被覆資材、フィガロン)の一部助成として、2か年で総額 35,256 千円を支出した。

平成28年度は、実証試験実施者から提供された試験データを高品質果実の生産・販売対策に活用した。

④果樹経営支援対策事業(整備事業、推進事業)

産地計画に基づく、担い手や産地が前向きな取組「優良品目・品種への改植・高接、園地整備等、担い手支援・園地情報システムの構築、大苗育苗ほの設置」に対して支援する事業である。

実施条件

- ・産地計画書を作成されていること。→「長崎西彼地域、長崎県央地域、島原地域、県北地域」の4地域で産地計画書作成済。
- ・担い手であること。→実施を希望する農業者は、上記の産地計画書で明確化された担い手のみ。(担い手リストは産地協議会で作成、保管。)

(ア) 整備事業(生産基盤の改善)

・優良品目・品種への転換等(改植、高接)	
かんきつ類からの改植	補助率：定額23万円/10a
落葉果樹等(びわ、ぶどう等)への改植	補助率：定額17万円/10a
高接	補助率：2分の1以内
・廃園(うんしゅうみかん類の果樹園)	補助率：定額10万円/10a
・小規模園地整備(園内道整備)、かん水施設の整備、特認(防風設備の設置、特認植栽、新植)	補助率：2分の1以内

平成27年度事業承認分：実績

(単位：円)

	事業の種類	補助金額
JA 長崎せいひ	改植、園内道	26,097,454
JA ながさき県央	改植	7,743,780
JA 島原雲仙	改植	1,158,520
JA ながさき西海	改植	19,948,108
合計		<u>54,947,862</u>

注) H28.1月末の雪害により、柑橘類(うんしゅうみかん、中晩かん等)の苗木の供給の遅れが発生したことにより、JAからの平成27年度実績報告が遅れた為、平成28年度に処理した。

平成28年度事業承認分：実績

(単位：円)

	事業の種類	補助金額
JA 長崎せいひ	改植、かん水、防風設備	25,662,505
JA ながさき県央	改植、園内道、かん水、防風設備	11,058,669
JA 島原雲仙	改植、廃園、園内道、かん水、特認植栽	3,442,149
JA ながさき西海	改植、園内道、かん水、防風設備	48,478,474
合計		<u>88,641,797</u>

昨年夏の干ばつ対応として、4農協125園地で「かん水」を活用した。

(イ) 推進事業(生産構造の改革)

平成27年度事業承認分：実績

- ・事業種目名 大苗育苗ほの設置 (平成27年度から2カ年実施)
- ・事業実施内容 苗木購入費、管理委託費、輸送梱包費
- ・補助率 2分の1以内

(単位：円)

	事業費	補助金額
JA ながさき県央	2,078,742	962,380
JA ながさき西海	3,220,000	1,490,741
計	5,298,742	<u>2,453,121</u>

- ・事業種目名 担い手支援情報システムの構築 (平成27年度から2カ年実施)
- ・事業実施内容 園地台帳管理システム経費一式
- ・補助率 2分の1以内

(単位：円)

	事業費	補助金額
JA ながさき県央	12,960,000	<u>6,000,000</u>

平成28年度事業承認分：実績

- ・事業種目名 担い手支援・園地情報システムの構築
- ・事業実施内容 びわ園地システムの開発、導入作業一式
- ・補助率 2分の1以内

(単位：円)

	事業費	補助金額
JA長崎せいひ	1,512,000	700,000

(ウ) 推進事務費実績

果樹経営支援対策事業の推進に取り組む、果樹産地協議会及び県協会に対しそれに係る経費を補助する事業。

(単位：円)

果樹産地協議会名	事業費	補助金額	実施内容
長崎西彼	357,264	357,264	資料代、備品購入
長崎県央	301,303	301,303	備品購入
島原	100,000	100,000	備品購入
県北	162,339	162,339	備品購入
計	920,906	920,906	
県協会	1,704,840	1,704,840	
合計	2,625,746	2,625,746	

⑤果樹未収益期間支援事業

上記④により、優良品目・品種への改植を実施した後、収穫できるまでの果樹未収益期間に要する経費の一部を補助する事業

- ・下限面積：2アール
- ・補助単価：5.5万円/10アール×改植の翌年から4カ年(初年目は④で支援)
- ④(ア)改植補助金と合算して補助金が支給される。

平成27年度事業承認分：実績

(単位：㎡、円)

	対象果樹	補助対象面積	補助金額
JA長崎せいひ	柑橘類 びわ、ぶどう	104,398	20,867,748
JAながさき県央	柑橘類	34,934	6,986,800
JA島原雲仙	柑橘類、びわ	4,641	928,200
JAながさき西海	柑橘類、桃	97,800	18,111,075
計		241,773	46,893,823

平成28年度事業承認分：実績

(単位：㎡、円)

	対象果樹	補助対象面積	補助金額
JA長崎せいひ	柑橘類	101,834	22,403,480
JAながさき県央	柑橘類	27,103	5,947,277
JA島原雲仙	柑橘類	10,205	2,245,100
JAながさき西海	柑橘類	72,800	14,829,596
計		211,942	45,425,453

⑥ 県推進事務費補助金

果樹に関する情報収集・調査を行い、果実需給調整対策等の果樹対策の円滑な推進を図り、果樹産地の活性化等を推進するため、中央果実協会から補助金1,962,000円を受けた。これには、長崎県果実生産出荷安定協議会が実施した果実需給安定推進費180,000円も含まれている。

⑦ 交付準備金運用益の処理

28年度中に生じた交付準備金運用益を業務方法書第12条第6項に基づき、次のとおり処理

- (ア) 果実計画生産推進事業運用益資金49円
→平成29年度果実計画生産推進事業資金に繰入
- (イ) 緊急需給調整特別対策事業運用益資金61,991円
→平成28年度緊急需給調整特別対策事業事務費に充当

⑧ 第18回全国・果樹技術経営コンクール

先進的な果樹農業者の努力の経過及びその成果に優れた生産者等を顕彰し、その事例を広く紹介し、果樹農業の新たな発展に資する目的に開催されている。

本年度は、平成28年度長崎県農林業大賞の果樹部門で受賞した、2件を推薦し、その結果は下記の通りとなった。

農協経営体（個人）

山口賢剛、多美子ご夫妻（JA長崎せいひ） 農林水産省生産局長賞

集団組織

長崎県央農業協同組合ハウスみかん部会（公財）中央果実協会理事長賞

(3) 会員に対する指導、情報提供

- ① 果樹経営支援事業研修会等を開催し、業務推進及び周知徹底を図った。
- ② 中央果実協会及び関係機関からの情報提供を行った。